無気力伝説

おかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無気力伝説

【コード】

N5965Y

【作者名】

おかん

【あらすじ】

強いくせにやる気のない3人組の軍人になるための学園生活が始まる。

主人公その1その2

「.....」
長い廊下に男が一人歩いている。友人との会話を楽しんでいた、他の生徒達が黙りこむ。

長身で金色の髪をなびかせ、眼鏡をかけたその男の名はユキア。オイネウス学院の軍事科1年で数少ないSランクを持つ生徒だ。

底のない魔力を持っている南大陸からの者であるということ、他の多くの生徒から一線を引かれているが、騒がしいのは好まないの。で本人はこの状況に満足している。

「ユキア」

名前を呼ばれ振り返ると、そこにいたのは赤髪の男。前髪をピンで止め、ヘッドホンを首に下げている。名をヒコという。彼は中央大陸の出身ではあるが、ユキアとは仲が良い。彼も同様にSランクを持っている。

「どうした？」

「んにゃ、特に用はないけど。教室出たらユキアが見えたから」
「ああ、そう」

オイネウス学院は生徒一人ひとりをランク分けする。最も高いランクがS。その次にA・B・C・E・Zと続く。Sランクは1学年に10人ほどしかおらず4学年合わせても50人に満たない。

クラス分けはランクごとではなくコンピュータによって自動で振り分けられる。軍事科は1学年5クラスあり、一クラス30人前後。オイネウス学院は普通科もあるが人数は圧倒的に軍事科が多い。

クラスの中で生徒のランクが違ふことで問題が起こることは少ない。自分より低いランクの生徒を見下した、いじめのようなものが存在することは生徒含め学院側も知っているが実力主義なため大きな事件等が起きなければ誰も動かない。

「そういえば、今日モギ見てないんだよね。学校きてんのかな？」

「さあな。僕もヒコモクラス違うから会わなくても仕方ないんじゃないか」

「んーうん、そだね。」

ユキア、ヒコ、それに今はいないがモギは全員がSランクとなっているため、同じクラスになれる確率は非常に低い。少人数しかないため仕方のないことなのだ。

会話が少し途切れた後、ユキアが何かを思い出したように声を上げた。

「ああ。そういえば、この前言ってた移転魔法使えそうだ」

「え、あれ普通は使えないんじゃないの？」

魔法には形式魔法（

）と無形式魔法（

）がある。簡単にいえば魔法書に書

かれているのが形式魔法。使用者がオリジナルに創り出すのが無形式魔法である。無形式魔法には多くのリスクがあるためあまり使用されない。移転魔法は形式魔法だが無形式魔法と同じようにあまり使用されていない。非常に高度な魔法で魔法式を理解するのが難しいというのが使用されない一番の理由だ。

「魔力量が無駄に多いからね。何度でも練習できるんだよ」

「なるほど」。meにはできない芸当だね。途中で絶対飽きるよ。

もう無理〜って投げ出す」

「僕だつて飽きるのは一緒。ただ、移転魔法が使えれば後で楽できるだろ」

「ユキアらしい理由だね。で、その魔法を使えるゆーこおーはんいは？」

ヒコは言葉を噛みかけたがなんとか言い切る。そんなヒコにユキアは苦笑しつつ答えた。

「基本的にどこでも行けると思う。練習したときは自分の部屋から

まで行き来したけど、失敗しなかった。地

名が付いているところなら行けるんじゃないか。まあ、確実なのは僕が行ったことのある場所。あ、だけど聖域とかは絶対行けない。

はじかれるらしい」

「というのはユキアの故郷の名前だ。同じ言葉を話す中央と南だが、一部方言のような違いがある。」

「は南の方言で光の中心という意味だ。」

「なんか難しい……聞いてたら頭痛くなってきた」

「ばーか」

「うわぁ、ひどく。me 涙でそう」

「でなくせに何言ってるんだ」

「痛っ。ちよ、何でもかんでも暴力に訴えるのやめようよ!!」

ユキアがヒコの頬を引っ張る。

「はっ。どうして僕がお前の言うことを聞かないといけないんだ？」

嘲笑を浮かべながらヒコを見下ろすユキア。10センチほど違いがあるためにヒコは完全に見下ろされている。

「くそっ。身長差が恨めしい……!!」

主人公その1その2（後書き）

初の長編小説。

楽しんでいただけたら幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5965y/>

無気力伝説

2011年11月18日20時24分発行